

がん感染症疾病対策課感染症対策係
 担当 西田、阿部
 直通：092-643-3597
 内線：3386

福岡県感染症発生動向調査感染症週報

令和4年第49週（令和4年12月5日～令和4年12月11日）

福岡県感染症情報センター

■ コメント

- ・ 今週は、腸管出血性大腸菌感染症が2件報告されました。第49週までの累積報告数は233件で、昨年同時期（175件・速報値）より多い状況です。腸管出血性大腸菌感染症は夏季に発生することが多いですが、冬季にも発生します。腸管出血性大腸菌に感染すると、3～8日の潜伏期間の後、激しい腹痛、頻回の水様便、血便などの症状が現れ、重症化すると死に至ることがあります。腸管出血性大腸菌は、生肉を食べたり、加熱不十分な肉を食べたりすることで感染するため、肉などを調理する際は十分に加熱（75℃以上で1分以上）し、生肉専用の箸と食べる箸を使い分けましょう。また、患者の便などで汚染された手を介して人から人へも感染するため、調理前、食事前、トイレやおむつ交換の後には、石けんと流水で十分に手を洗いましょう。
- ・ 福岡県感染症情報ホームページ(http://www.fihes.pref.fukuoka.jp/~idsc_fukuoka/)では、感染症発生情報、病原体検出情報などがご覧になれます。

■ 全数把握疾患報告

病名	福岡県		全国（前週）	
	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数
結核	3	698	213	13,555
腸管出血性大腸菌感染症	2	233	39	3,183
つつが虫病	1	4	38	286
レジオネラ症	1	69	22	2,023
侵襲性肺炎球菌感染症	2	55	27	1,179
梅毒	6	515	151	11,917
百日咳	1	19	15	464

※新型コロナウイルス感染症の最新の発生状況等は別紙をご覧ください。

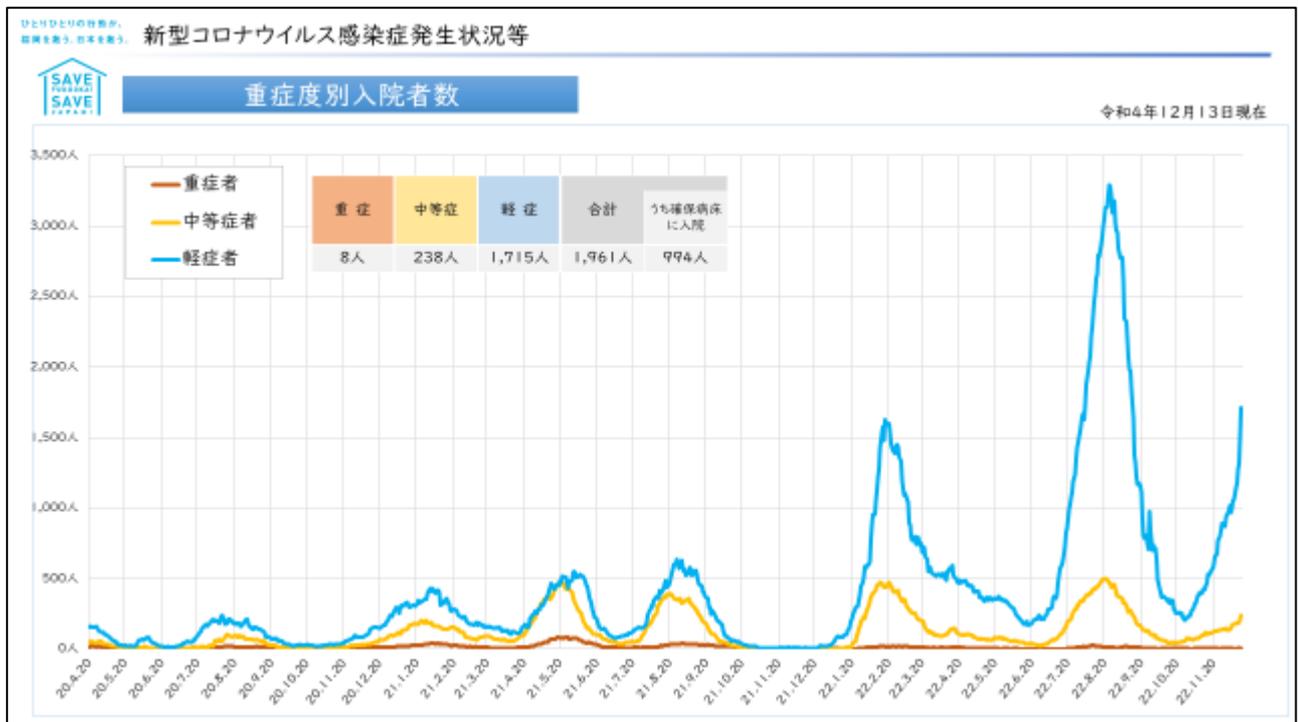
■ 定点把握疾患報告数

■：警報レベル

■：注意報レベル

病名	福岡県			全国（前週）	
	報告数	定点当たり	前週比	報告数	定点当たり
インフルエンザ	49	0.25	2.45	636	0.13
RSウイルス感染症	107	0.89	1.35	1,579	0.50
咽頭結膜熱	36	0.30	1.13	427	0.14
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	177	1.48	1.17	1,165	0.37
感染性胃腸炎	773	6.44	1.23	11,994	3.81
水痘	16	0.13	0.76	358	0.11
手足口病	84	0.70	0.76	1,368	0.43
伝染性紅斑	0	0.00	0.00	29	0.01
突発性発しん	41	0.34	0.82	781	0.25
ヘルパンギーナ	88	0.73	0.90	579	0.18
流行性耳下腺炎	6	0.05	1.20	111	0.04
急性出血性結膜炎	0	0.00	-	6	0.01
流行性角結膜炎	6	0.23	1.00	158	0.23
細菌性髄膜炎	0	0.00	-	6	0.01
無菌性髄膜炎	0	0.00	-	11	0.02
マイコプラズマ肺炎	0	0.00	-	11	0.02
クラミジア肺炎	0	0.00	-	-	-
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	0	0.00	-	2	0.00

○県内における新型コロナウイルス感染症の発生状況等について



・福岡県では、下記のホームページにて随時、発生状況や感染予防策などの情報提供を行っています。

◇新型コロナウイルス感染症ポータルページ

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/covid-19-portal.html>